

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4020 社会学入門			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	×
曜日時限	金曜3限				
教室	B207教室				
代表教員	挽地 康彦				
担当教員	挽地 康彦				
テーマと到達目標	自然災害、パンデミック、戦争一。現代においてもなお、わたしたちの日常生活はこうした事態によって一変する。〈非日常〉が強いられるとき、私たちは、それまでの〈日常〉が何であったかを振り返るだろう。わたしたちの生きる「日常生活」や「社会」とは何か。この授業では、社会を読み解く方法を身につけ、現代社会が抱える諸問題を批判的に考察するために、基本的な社会学的思考を養っていくことを目標とする。				
概要	より身近なトピックを用いながら、個人と社会の関係を多角的な視点から考察していく。当たり前前に存在する〈日常生活〉やそれがもつ〈意味〉に注目することは、社会学の重要な方法である。授業の中では、具体的な出来事を「食材」に見立てて社会学の「調理法」を解説し、受講者にもワーク（作業）を行ってもらおう。授業を通して、社会学のモノの見方やそのおもしろさを理解し、社会現象を批判的に読み解くための基礎的な力をつけることを目指す。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	社会学の感性①：ペット動物				対面授業
第3回	社会学の感性②：ペット動物（つづき）				対面授業
第4回	社会学の感性③：アルバイト				対面授業
第5回	社会学の感性④：アルバイト（つづき）				対面授業
第6回	社会学の考え方①：意味と法則				対面授業
第7回	社会学の考え方②：意味と法則（つづき）				対面授業
第8回	社会学の考え方③：役割と演技				対面授業
第9回	社会学の考え方④：役割と演技（つづき）				対面授業
第10回	社会学の考え方⑤：規範と逸脱				対面授業
第11回	社会学の考え方⑥：規範と逸脱（つづき）				対面授業
第12回	ケース・スタディ：児童虐待①				対面授業
第13回	ケース・スタディ：児童虐待②				対面授業
第14回	ケース・スタディ：児童虐待③				対面授業
第15回	まとめ				対面授業
成績評価の基準	成績は、出席点（配点30）、授業中に取り組む課題（配点10）、学期末に提出するレポート（配点60）で評価する。				
履修にあたっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> * 授業資料（レジュメ）は、和光ポータルを通じてデータで配信する（印刷物は配布しない）。 * 各自、ノートを持参して受講すること。 * 授業計画は一部変更することがある。 * 授業内で質問できない場合は、和光ポータルの「授業QA」を活用すること。 * 前期末試験期間では、「社会学入門」の筆記試験は実施しない（期末レポートの提出に代える）。 				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	ない。		
教科書	教科書は指定しない。授業資料（レジュメ）を配布する。	教科書(ISBN)	
参考文献	適宜、紹介する。	参考文献(ISBN)	